



日章学園九州国際高等学校校長便り 霜月

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：**継続は力なり**

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和5年(2023年)11月1日(水)校長 屋田伸仁



# 花言葉



スポーツの秋です。テレビでも、いろんなスポーツが中継されています。その中で、日本で熱狂的な応援があった競技の一つが、ラグビーの世界大会でした。ラグビーは漢字で、「闘球」と書きます。字のとおり、体当たりして闘うスポーツです。ちなみに中国語では、橄欖球(ガンランチュウ)です。橄欖って、何でしょう？果物の名前です。ラグビーのボールの形が、ある果物の名前に似ていることから、つけられました。それは、オリーブです。スポーツの漢字表記で、異文化を感じ、興味深いです。

ところで、選手のユニフォームの胸にエンブレムが貼ってありました。日本は桜です。イングランドは赤いバラです。花には花言葉があります。赤いバラは「情熱」。白いバラは「純潔」。黄色のバラは「友情」。では、青いバラは、何でしょう。実は、今と昔で、正反対の意味を表す2つの花言葉があります。青いバラを夢見て、昔の園芸家達はバラの交配作業を何度もチャレンジしてきましたが、青いバラは作ることができませんでした。それで、青いバラは、長い間、「不可能」と言われ続けてきました。しかし、近年、遺伝子の組み換えやバイオテクノロジーの力で、2004年について、サントリーが世界で初めて青いバラの開発に成功しました。花言葉は、「不可能」から「夢かなう」に変わりました。その他、「奇跡」「可能」とも言われています。



長年の夢や努力をあきらめなかった人達にとって、青いバラは、「継続は力なり」の結晶とも言えます。青いバラは感動的で、素晴らしい話です。大学受験や就職試験の勉強で、伸び悩んでいる留学生や3年生の皆さん、この青いバラでエールを送ります。最後まであきらめずに自分を信じて、念願をかなえてください。3月の卒業式は夢を実現し、みんなで笑顔で卒業しましょう。

## Seeing is believing. 百聞は一見に如かず



全国各地で通信制・サポート校合同相談会が開催されています。その会場で学校紹介PRタイムがあれば、校長自ら手品を使って、楽しいPR活動を行っています。来場者のほとんどの方が、本校が、通信制高校でなく、「寮のある単位制全日制高校」だと知って、まず、驚かれます。

本校は、宮崎県えびの市にあり、九州自動車道から学校や寮の建物がよく見えます。霧島連山を仰ぐ、自然豊かな地で、心を癒やし、自分を見つめ直す最高の場所です。生徒は、遠くは神奈川県、京都、大阪、兵庫、福岡等から来ています。

本校は、①大人数苦手 ②学力不安 ③スマホ・ゲーム依存 ④昼夜逆転 ⑤今の環境を変えたい等の問題や悩みを寮生活をとおして、改善していきます。寮生活は、安心安全です。校長、教頭、職員が学校敷地内に住んでいます。24時間、やさしく見守ります。少しずつ、ゆっくり、規則正しい生活習慣が身に付きます。また、少しずつ、ゆっくり、社会生活に必要なコミュニケーション力や自立心も身に付きます。授業料は、私学の就学支援金制度を利用すれば、(所  
得に応じて) ②冷暖房、  
無償です。寮の環境は、①ベランダ付きの完全個室

Wi-Fi完備 ③朝昼晩3食付き ④光熱水費すべて込みです。これで、寮費が、1ヶ月51,000円は安いと思いますが、えびの市の寮費半額補助制度を利用すると、26,000円です。学校敷地内には、全国の高校でも珍しいドッグランもあります。保護犬もいます。ぜひ、ご家族で、一度、学校見学、寮見学を勧めます。実際に自分の目で確かめて、検討されてみてください。



"Seeing is believing."  
百聞は一見に如かず

おすおめ

